



奈良県感染症情報

令和4年第31週(8月1日～8月7日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(7月)
- 性感染症について

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	RSウイルス感染症	5.35	(5.29)	↑	↗	↑	↑
2	感染性胃腸炎	2.38	(3.18)	↘	↘	↘	↘
3	手足口病	1.29	(0.94)	↑↑	↑↑	↑	↑
4	ヘルパンギーナ	0.41	(0.38)	↑	↑↑	↑	↘
5	突発性発しん	0.26	(0.26)	↘	↘	↘	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↘減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第31週の新型コロナウイルス新規感染者数は15064名と6週続けて増加しています。

夏休みとなり、往来の機会も増えますが、感染拡大の防止のため、ふだん同居していないメンバーとの活動は、交通機関や車による移動でも注意し、飲食はきちんと感染対策をしている店舗で行いましょう。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

RSウイルス感染症及び手足口病の報告が多い状態が続いています。感染予防のため、こまめな手洗いをお願いします。

❖ 病原体(ウイルス)検出情報(令和4年7月) ❖

※ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
ムンプス B		1			流行性耳下腺炎(1)

感染症発生動向調査において、新型コロナウイルス対応のため、医療機関より提供いただいた検体の検査が遅延しております。

❖ 性感染症について ❖

国内での性感染症は増減を繰り返していますが、数年前から梅毒の感染報告が急激に増加しています。性感染症(STI)には自覚症状が乏しいことが多く、感染に気付かず人に感染させる恐れがあります。免疫が出来ない病気が多いので、何度でも感染することがあります。治療すれば治りますので、医療機関で受診・治療すること、コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。信頼できる情報源*から正しい知識を得て感染対策をお願いします。



※例えば厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/index.html

厚生労働省 HP

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/dl/poster_kansenshou.pdf

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 31 週 8 月 1 日 ~ 7 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6
インフルエンザ	2 (0.04)				1 (0.10)	1 (0.17)
小児科定点数	34	9	9	7	6	3
RSウイルス感染症	182 (5.35)	34 (3.78)	21 (2.33)	28 (4.00)	96 (16.00)	3 (1.00)
咽頭結膜熱						
A群溶連菌咽頭炎	2 (0.06)		1 (0.11)	1 (0.14)		
感染性胃腸炎	81 (2.38)	19 (2.11)	16 (1.78)	10 (1.43)	35 (5.83)	1 (0.33)
水痘						
手足口病	44 (1.29)	4 (0.44)	20 (2.22)	6 (0.86)	10 (1.67)	4 (1.33)
伝染性紅斑	1 (0.03)	1 (0.11)				
突発性発しん	9 (0.26)	4 (0.44)	1 (0.11)	2 (0.29)		2 (0.67)
ヘルパンギーナ	14 (0.41)	1 (0.11)	4 (0.44)	4 (0.57)	5 (0.83)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)			1 (0.14)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0
急性出血性結膜炎						
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)			1 (0.50)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1
細菌性髄膜炎						
無菌性髄膜炎						
マイコプラズマ肺炎						
クラミジア肺炎						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)						

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(郡山1、中和3)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(郡山2、中和1)
4類感染症	
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病1件(郡山1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2件(奈良市1、吉野1) 梅毒2件(奈良市1、郡山1)

❖ 第31週のトピックス ❖

◆新型コロナワクチンの有効性・安全性について(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yuukousei_nzensei.html

◆デルタ株流行期・オミクロン株流行期における新型コロナワクチンの有効性評価(国立感染症研究所HP)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/basic-science/epidemi/11369-epi-2022-02.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																					2	2	
	女														1								1	6
RSウイルス感染症	男	7	10	27	34	14	5															97	485	
	女	4	11	23	25	11	7	2	1	1												85	403	
咽頭結膜熱	男																							110
	女																							77
A群溶連菌咽頭炎	男			1		1																2	88	
	女																						70	
感染性胃腸炎	男		6	4	8	4	1	4	3	1	1		2	1	4							39	2310	
	女	1	2	15	4	3	4	3	2	2		1			5							42	2049	
水痘	男																						24	
	女																						29	
手足口病	男	1	2	11	3	3		1														21	118	
	女		1	6	7	6	1	2														23	86	
伝染性紅斑	男																						4	
	女																					1	2	
突発性発しん	男			4																		4	178	
	女		2	2	1																	5	139	
ヘルパンギーナ	男		1	1	3									1								6	33	
	女		1	1	3	1	1	1														8	24	
流行性耳下腺炎	男																						1	11
	女										1											1	12	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男																							41
	女																						2	18
細菌性髄膜炎	男																							
	女																							
無菌性髄膜炎	男																							2
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							
	女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

